

【基本方針3 財政運営】

収支のバランスがとれた持続可能な財政マネジメントの強化

項目番号	27
取組分類	重点実施項目
所管課	病院事業局 県立病院課

実施項目名	県立病院の経営安定化
主な課題	「沖縄県立病院経営計画(平成29年度～平成32年度)」に基づき、県立病院の経営改善を図りながら、県民に安定した医療を提供するための計画的な医療機器等の設備投資、資本的な収支均衡に必要な資金確保、地域医療構想も踏まえた県立病院の役割を果たしていくための体制づくり等を推進する必要があります。
取組内容	「沖縄県立病院経営計画」に基づく取組を推進します。
取組効果	経常収支の黒字を確保し、経営の健全化を図ることにより、県立病院としての役割を果たしていきます。 収益的収支に加え、施設、医療機器の設備投資に係る資本的収支も含めた収支均衡に必要な投資資金を確保し、医療提供体制の整備を図ります。 発生する資金需要に対応するために必要な現金を確保し、経営の安定化を図る事により、医療を安定的に提供します。
行政運営の変化(県民の目線)	各県立病院の役割を維持しつつ、地域において必要な医療が適切かつ安定的に提供されます。

■年度ごとの具体的な取組

取組項目	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	達成目標
1 収益の確保	診療報酬を確実に得るための診療報酬改定への対応、DPC分析の強化、査定・返戻の縮減等による収益の確保				→	次期計画を踏まえて取組項目を検討する。  持続的な経営の健全化
	活動指標	入院診療単価対前年度比 101.5%以上 (H26-H27比)				
外来診療単価対前年度比 101.6%以上 (H21-H22比)						
2 費用の縮減	材料費等の適正化、委託業務の見直し等による費用の縮減				→	
	活動指標 医療材料比率 毎年度20.9%以下					
3 医師の確保	他の医療機関との協力連携の強化や、webサイトを通じた医師募集情報の発信、地域・離島医療確保モデル事業等の実施による医師の安定確保				→	
	活動指標 地域・離島医療確保モデル事業を活用した招聘医師数 年15人					

## ■ 成果指標

成果指標名	基準値	年度ごとの目標値			
		2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)
1-1 経常収支の黒字確保 (経常利益=(医業収益-医業費用)-(医業外収益-医業外費用))	△740百万円 (H28実績)	303百万円	3百万円	172百万円	次期計画で定める
1-2 投資資金の確保 (収益的収支(3条収支)の現金収支で投資資金を確保し、資本的収支(4条収支)の収支均衡を図る。)	△657百万円 (H28実績)	385百万円	137百万円	91百万円	次期計画で定める
1-3 手元流動性の確保 (期末現預金残高より運営費用の1ヶ月分以上を確保する。)	6,088百万円 (1.35月) (H28実績)	4,430百万円 (1.00月)	4,550百万円 (1.00月)	4,640百万円 (1.00月)	次期計画で定める

※上記の成果指標は、平成29年3月に策定した「沖縄県立病院経営計画」で定めた指標であり、その後、医師の時間外勤務等への対応など経営環境の変化があったことから、今後、収支見通しを速やかに作成するとともに、平成30年度に同計画を見直し、経営健全化に取り組むこととしている。

### 【参考】これまでの主な取組

病院事業局では、これまで「沖縄県病院事業経営健全化計画(昭和57年度～平成19年度)」や「県立病院経営再建計画(平成21年度～平成23年度)」及び「県立病院経営安定化計画(平成24年度～平成28年度)」を策定し、経営改善に取り組んできた。

「県立病院経営安定化計画(平成24年度～平成28年度)」では、「経常収支の黒字化」、「手元流動性の確保」、「長期債務の縮減」に取り組み、手元流動性の確保、長期債務の縮減については達成したものの、経常収支の黒字化については平成27年度、平成28年度は達成できなかった。